

## ツェラー湖のマリモについて

中 沢 信 午\*

S. NAKAZAWA: Über den Seeknödel  
vom Zeller See, Österreich

1972年9月18日から20日までの3日間、オーストリアのザルツブルク南方にある湖 Zeller See を訪れ、マリモが現在もあるかどうか調査をこころみた。かつて1824年に ANTON SAUTER がこの湖でマリモを採集した報告<sup>1)</sup>によると、湖のザルツァハ河に流出する部分と反対側の岸に近く、多くの緑の石のようにマリモがころがっていたという。さっそくその位置へ行ってみた結果、マリモは1個もみることができなかった。また湖岸にそって歩き、南岸の立入禁止区域をのぞいてほとんど全岸を観察したが、マリモはみられなかった。南岸立入禁止区域は一面にヨシの生えるどろ地で、ここにはマリモはありそうもないので、特にここを調査することは止めた。

第2の方法として、遊覧船ののって3回湖面をまわりながら注意したが、やはりマリモはみられなかった。

つぎに土地の人たちにきいて歩き、土地の商業学校・小学校の理科の先生にあってたずねたが、すべてマリモについては知らなかった。なおウィーン、グラーツなどの植物学教室に立ちよってマリモのことをきいたが、ツェラー湖のマリモについては知られていなかった。

しかし昔ここにマリモが多数あったことは SAUTER の原著論文をよんでよく知られるし、またその後1855年に LORENZ がここでマリモの研究をした事実<sup>2)</sup>からも確かである。南西岸の一部に付着生活する *Cladophora* があり、これを採集して持ち帰り、阪井与志雄博士に依頼して同定してもらった結果、これは *Cladophora crispata* (ROTH) KÜTZ. と確定した。したがって、現在ツェラー湖に淡水のシオグサ属のものが生育しうるとはまちがいない。

以上の調査から推察すると、1824年以後において、しだいに湖水の条件が変化して、今日ではマリモ *Cl. sauteri* は生存できなくなったようである。この変化の一つは、湖水の美しさを求めてくる観光客と、そのための多くのレストラン、ホテル、遊覧船などによる汚れではないだろうか。また土地の人たちがマリモについて知らない事実から考えて、この湖でマリモが失われたのは最近ではなく、相当に古い時代であったと思う。

\* 山形大学理学部生物学教室 (山形市小白川町1丁目4-12)  
Biology Department, Yamagata University, Yamagata Japan.  
The Bulletin of Japanese Society of Phycology, Vol. XXI, No. 2, 76-77, June 1973.

ツェラー湖採集品の同定をして頂いた阪井与志雄博士に感謝します。なおツェラー湖訪問に関する一般的なことがらは本年4月に雑誌「遺伝」に発表しました<sup>3)</sup>。

#### 引用文献

- 1) SAUTER, A. E. (1824) Berichte über einige botanische Exkursionen durch Oesterreich, Steinermark und Salzburg. Flora 7: 209-217.
- 2) SCHRÖDER, B. (1920) Über Seebälle. Naturwissenschaften 8: 799-803.
- 3) 中沢信午 (1973) ツェラー湖をたずねて. 遺伝, 27: 68-72.

#### Zusammenfassung

Vom 17. bis zum 19. September 1972 besuchte der Verfasser den Zeller See, Österreich, um entsprechend dem alten Bericht von ANTON SAUTER aus dem Jahre 1824 „Seeknödel“ zu beobachten. Er konnte aber keine finden. An einigen Stellen wuchs zwar eine *Cladophora*-Art auf Ufersteinen; Dr. YOSHIO SAKAI bestimmte sie später als *Cl. crispata* (ROTH) KÜTZ. Entgegen der Erwartung ist aber *Cl. sauteri* in diesem See nicht gefunden worden. Es scheint demnach, dass *Cl. sauteri* irgentwann nach dem Jahre 1824, als SAUTER zum erstenmal „Seeknödel“ dieser Species im Zeller See gefunden hatte, dort verschwunden ist.